

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・教授
氏名 Name	岸田泰浩
専門分野 Academic Field	言語学

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	コーカサス地域の言語研究 明証性(evidentiality)の通言語的研究、格助詞の類型論的・歴史的研究				
研究計画 Research Plan	<p>類型論および言語接触という観点から所与の言語に特有と考えられる特徴の探求を主要テーマとして研究をおこなう。アルメニア語の教育教材の開発については、コンテンツのほうに焦点をあて、教材の部品となる資料を作成していく。また、電子版学習辞典については、語彙の登録作業を継続し、タブレット/ポータブル型端末の利用も視野に入れながら、eラーニングにおける部品として活用するためにどのような形態が適切であるかを検討する。前年度に日本語日本文化教育センター特別研究費Ⅱの配分を受けて行った研究を継続するために、既存の文献(文法書・語学書を含む)を利用しながら言語データの収集に努める。また、「格」に関する研究においては、日本語のガ格を扱うのみではなく、他の格にも観察を及ぼせ、形態と統語との相関にも視野を広げた考察を行う。具体的には、理論統語論では、抽象格が重要視されているが、形態格が統語論にどのように関わるかを、<i>cartography</i> や <i>Distributed Morphology</i> の知見を視野に入れる。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	言語学 (一般、コーカサス)	日本語学 (現代)	外国語教育	日本語教育	
キーワード Keywords	類型論	統語論	形態論	アルメニア語	グルジア語